

Da  
DaHootch

成人向け同人誌  
ADULTS ONLY

女中(ヤ)旅6

おぼれおぼれ  
乱戯



## とうじょうじんぶつ



とくせい  
マゾヒスト  
にくべんき  
じょうじはつじょう

アリアハンのゆうしや  
ゆうしやオルテガの  
ひとりむすめ  
ピラミッドでぜんめつ  
したあとパーティの  
ふっかつのためありがねを  
すべてつかうはめになった  
さいきんはモンスターとの  
せんとうをさけている



とくせい  
マゾヒスト  
ばいしゅんぐせ  
やすうり

たびのせんし  
ははとあねをモンスターに  
うしなつたせんしの  
かけいのむすめ  
そろそろあたらしい  
ぶきとぼうぐがほしいが  
まんねん きんけつで  
いくらばいしゅんしても  
やどだいをばらうのが  
やっど



とくせい  
マゾヒスト  
レイブがんぼう  
スラムのべんき

たびのぶとうか  
おのれのうでをみがくため  
しゅぎょうのたびにでた  
いなかむすめ  
ピラミッドでてにいれた  
きんのつめは  
ろぎんのために  
うりとばした



とくせい  
どマゾヒスト  
オナニスト  
たいしゅうきつめ

アリアハンのそうりょ  
かねもちのいえをとびだし  
よのためにはたらく  
そうりょにてんしよくする  
ピラミッドから  
だっしゅつしてから  
ずっとはつじょう  
しておまたを  
ぬらしている



# 女ゆうしや旅行

ピラミッドの奥に隠されてた魔法の鍵を手に入れ

### ポルトガ

ボクたちはロマリアの西にあるポルトガの国へ渡った

造船が盛んな国だ

船はボクたちではどうしても買えないほど高額だが

この国では遠い東の国で採れる「くろこしよ」がとんでも高価で

それを持ち帰るのなら閉ざされた洞窟を開けてくれるとポルトガ王が約束してくれた

### 王の手紙

### ノルドの洞窟

ボクたちはアッサラーム近辺のノルドの洞窟へ向かった……



奇襲——細い山道で  
前後からの挟み撃ち

暴れ猿の群れだ！



——今は戦うしかない

この地域の暴れ猿は強く悍猛で  
今まで戦いを避けてきたが——



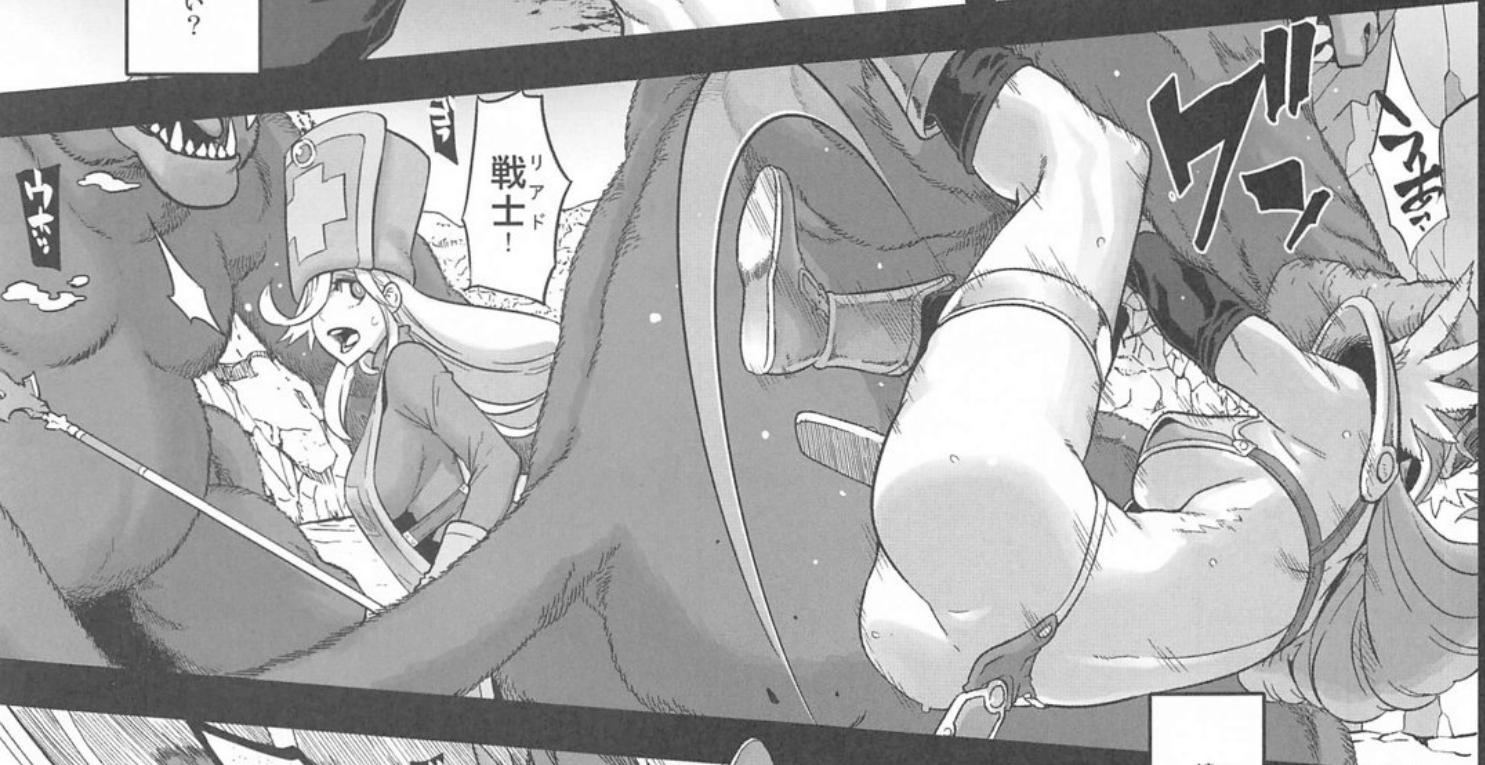
真空呪文……！



……おかしい

しゅ……んー

みんなの動きが鈍い？



リアド  
戦士！



違うー







ホクは…逃げないから

逆らったりしないから…

—ね？



頭…潰れちゃう！

あっ…待って！



臭い

酸っぱい体臭と汚物臭の奥に—

強烈な獣臭さと雄臭さが混ざって

ホクは敵じゃ—



落ち着いて…？



身体が拒否反応を起こしちゃう







ま、待って！

ごめん！  
ごめんね！

今！気持ち良く  
するから！

カール！

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ



人間のモノより  
ずっと熱いチンポを  
啜ると――

身体が勝手に動き出す

カール！

カール！

びしょ

びしょ

びしょ

魔物のチンポで  
全部喉の奥に押し込む

濃厚なカスを綺麗に  
舐め上げて口に運び

カール！

カール！

びしょ

びしょ

仲間たちも同じように



回復呪文  
ホ  
イ  
ミ

身体を使って必死に  
命乞いをしてた

顔を潰されて  
それが出来てない  
僧侶は――

強引に従わされた



臭...い!



最初は激臭でびしょりして  
吐いちゃったけど

すく不快感が溶けて  
無くなった



ボクたちのアソコに  
火を付ける

魔物のチンポを舐めてるだけで  
脚の間がとんとん濡れていく



むしろこの臭いが刺激になって



アッ

あ

チンポ舐めてるだけで  
イケると思っていたら

魔物たちはボクらを  
無理矢理引き離した

オイ  
もつとチンポ  
しゃぶらせろよお

あ

どうして  
止めるのですか…



あ

あ

あ

それ♡それでいいから♡  
もつとほじってくれ♡

そして今度は太い指を  
アソコにねじ込んできた

あ

あ

あ

あ



人間の男のチンポより大きな指で  
アソコを乱暴にかき回され

ボクたちはただ  
全身を震わせ――



ああ♡痛い♡

弱いところお♡  
ずっと♡当たって♡

何度も無様に絶頂――

潰してルー子宮！  
中からゴリゴリゴリゴリ♡  
擦り潰されてルー♡



猿の魔物たちはしばらく  
ボクたちをイカせまくった後  
ボクたちのマンコが十分に  
ほぐされたと判断したのか

あへ...も...  
もう無理...

これ以上...は

あつ...しぬ♡  
イキ死ぬかと  
思った...ぜ♡

なにも...  
考えられ...ません♡



言葉はないが...そう感じた



ようやく交尾を求めてきた



ああ、なんて強く  
猛々しいチンポだ

この魔物……  
本気で交尾する気なんだ

ホクを……交尾相手の雌として  
認めてるんだ

自分のメスザルだとホクに  
解らせる気だ



いいいよ♡

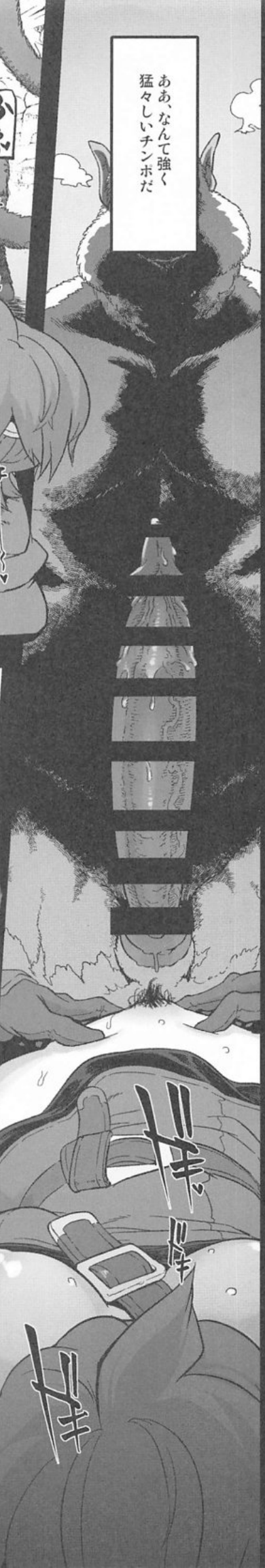
何で……ホク

期待してるんだ？

来て♡

ホクが君の……雌  
メスザルだよ♡

君の好きに使って♡





みんなも魔物の臭気に  
当てられて我を忘れてる



アタシも子供産める  
身体だからナ!

僧侶より強い子孫  
残せるヨ!







それも仕方ないのか

リアド  
ボクと戦士も完全に  
交尾に夢中だ

強い♡このチンポ♡  
今まで一番♡  
凶悪なやつ♡

あゝ♡

やっ♡  
つ♡  
お♡

お♡



強い♡このチンポ♡  
今まで一番♡  
凶悪なやつ♡

こんなに強い雄に求められて

女の弱いところを  
こんなに激しく攻められたら

殺される♡終わる♡  
オツ♡でも…殺されるのなら  
このチンポがイイかも♡お♡

お♡

お♡

あっ♡

あっ♡奥う♡  
弱点に当たってます♡

そこはいけません♡  
すぐ孕みます♡

うっ♡

ドッ

ドッ

ひっ♡

猿の魔物との赤ん坊が  
出来ちゃいます♡

ハッ

ハッ

ハッ

もっどお♡強く突いテ♡

アタシの子宮♡串刺しにして  
お前のモノにするんタ♡

そして♡好きな時、好きなだけ  
アタシのマンコにコキ捨てテ♡

みんなも魔物の精液で孕む準備…  
魔物の子を孕んで産む準備ができてる

はやく♡精液♡欲しい♡  
強い子種でアタシの  
全てを奪っテ♡

うっ♡

ドッ

ドッ

ドッ

うっ♡

ドッ

ドッ

ドッ



ボクもこの魔物と  
番になるんだ

おふう♡オツ♡  
射精して♡

ボクの子宮を奪って♡

ボクを君の雌にして♡

ボクを君の子の  
ママにしてえ♡

もうそれでいいかもと  
思うほど…コレが…交尾が  
心地いいんだ♡

使命なんか忘れて  
この魔物の雌として  
生きていくのかな

このままボクの冒険は  
終わるのかな…

オホッ

オホッ

ゴッ

オホッ

ゴッ

オホッ

オホッ

オホッ

オホッ

オホッ

オホッ

オホッ

オホッ

オホッ

オホッ

オホッ

オホッ

オホッ

オホッ

オホッ

オホッ

オホッ

オホッ

オホッ

オホッ

オホッ

オホッ



みんなそれぞれの夫から  
食事を与えられ飢えを忍んだ

どうやらこの魔物は  
一度番になると殆どの時間を  
繋がったまま過ごらしい

移動中はみんな  
それぞれの雄と繋がったまま――

力尽きたボクたちを  
魔物たちが巣に持ち帰った

巣の近くに水場がないため  
水分は果実と精液、小便で  
なんとか補っている

常に魔物の臭いに晒されているせい  
か身体が常に火照り、夫に繋がっていない時は  
不安でしようがない……

水分を摂る時でも空っぽになった自分の  
マンコを慰めてないと泣きそうになる

そんな生活が一週間続き  
ボクを含むパーティのみんなの  
子宮に魔物の種が芽生えた

成長が恐ろしくはやい



一か月経った頃にはみんな臨月のように  
腹が大きくなっていた

おつ♡ふうう♡  
こんなに…はやく…

今は手足をツタで手足を縛られ  
夫のチンポケースとして  
携帯されている

あお♡お腹の中に私たちの♡  
子が暴れます♡  
内側から子宮を♡オツ♡

殴ってますぅ♡

これが不思議と心地良い

産ま…れる…っ♡  
産まれ…る…っ♡

もう…出そう…♡  
産まれる♡猿の赤ちゃん♡

魔物…産んじやうッ!

嫌だ！出るなああ！

俺に魔物を産ませるなあああ

戦士は魔物を産み落とすことを酷く怖がっていた

んまっ

んまっ

んまっ

でも暴れ猿の雌として逃れられない運命だった

昼夜交尾しながら下るだけの生活では魔物の子を孕んで産むしかない

それがメスザルの人生なんだ

んまっ



みんなすんなり赤ちゃんを産んだけど  
ボクだけ二日間の難産だった

最後はしびれを切らした雄猿が  
ボクの子宮ごと赤ちゃんを外に  
引っ張り出して終わった

出産の痛みは果てしなかったけど  
ボクの身体はそれでも悦んでいた









待って！アツ♡

ホクたち：親子だから！  
しちやダメな：アア♡

腰止めてえ♡  
このままだと――

君、お母さんに種付け  
しちやうのよお！

ホク♡ホク♡

ホク♡ホク♡

ホク♡ホク♡

暴れ猿は産まれた瞬間から  
繁殖できる魔物らしい  
そして目の前の雌を  
孕ませるのに躊躇がない



ああ♡出てる♡  
息子精液い♡

ホク♡ホク♡



結局魔物の群れがボクたちに飽きて去ったのは2か月後だった

その間ボクたちは3世代の猿を産み落とし、マンコと尻が猿の精液で満たされていない日はなかった

ボクたちは東のバハラタへ旅を続けるがしばらくは猿の臭いを忘れることはないだろう





# POSTSCRIPT 後書き

こんにちは、DA HOOTCHの新堂エルです、

まずは、この同人誌を読んでいただきまして、誠にありがとうございます。  
いつもの本文完成前に書くあとがきです。

「女ゆうしゃノ旅」第6弾です。  
前はピラミッドだったので次は…と考えたらバハラタでした。  
またカンダタかよ。まだ早いよ。

てなわけで間に何かをはさまなきゃと思い、前回のあとがきで次は  
異種姦描きたいと書いてたのを思い出し、みんな大好きあばれざるの相手を  
してもらうことにしました。

本当はあばれざるに苦しむところ、初めてアッサラーム近辺に来る時がそうだと  
思いますがその機会を2冊前に逃してしまいました。しかも前回のピラミッド本で勇者が  
ベギラマ撃ってたので20LV以上ということになってしまうとつじつまが合わない！  
としようもない設定でししようもない感じに悩みました。

というわけで何かあばれざるの亜種っぽいので強くても勝てないという裏設定で  
自分を納得させました。

ししようもないですよ。

今後とも何卒宜しくお願い致します。

新堂エル  
DA HOOTCH  
dahootch@gmail.com  
<http://dahootch.com>

印刷  
パワープリント

December 31, 2023 初版



ONNA YUUSYA NO TABI 6

WINTER 2023  
DA HOOTCH